

……… 企業版ふるさと納税を活用し、市内で起業した方達 ……

京都製作所からいただいた「ふるさと納税」で、7の方が市内で起業することができました。

活用事例



松井 武明 さん

国東町大恩寺にある「旧大恩こども館」を改修し、「合同会社国東自然素材研究所」を開設しました。現在、自然素材の研究、用途開発及び販売をしています。



その他に平成29年度の創業・起業の支援を受けた人 (平成30年3月末時点)

番号	プロフィール	開設した場所	内容
1	別府市から移住(1年目)してきた男性	国東町富来浦	葬儀用の企画設営及び生花販売
2	市内在住の男性	国東町浜	農産物加工・販売
3	市内在住の男性	安岐町下原	食堂
4	沖縄県から移住(1年目)してきた男性	国東町来浦	焼きもの工房
5	市内在住の男性	武蔵町向陽台	植物工場
6	市内在住の男性	国東町鶴川	宿泊施設

今年も同事業で企業版ふるさと納税を募り、市内起業家をサポートし、地域の活性化を図ります。

【問合せ先】 活力創生課 ふるさと納税推進係 ☎0978-72-5175

合併浄化槽をご利用ください

● 合併処理浄化槽とは? ●

「合併処理浄化槽」は、家庭から出る生活排水(=し尿と台所、お風呂、洗濯等の雑排水を合わせたもの)の全てを浄化できる優れた汚水処理性能を持っており、国東市の美しい自然環境の維持と発展に大きく関わっています。し尿処理だけに対応した「単独処理浄化槽」では自然に負担をかけてしまうため、環境に優しい「合併処理浄化槽」への転換が近年強く求められています。

● 合併処理浄化槽設置補助金について ●

国東市では下水道が整備されていない地域を対象に、家を新築する場合や、単独浄化槽またはくみ取り便槽から合併浄化槽に転換する場合、右記の表のとおり予算の範囲内で補助金を交付しています。また、転換する場合に限り平成31年度まで通常の補助額に20万円の上乗せ補助を実施しています。

人槽	補助額	▼家を新築する場合	
5人槽	221,000円	単独浄化槽またはくみ取り便槽	
7人槽	276,000円	▼から合併浄化槽に転換する場合	
10人槽	365,000円	人槽	通常の補助額
		5人槽	332,000円
		7人槽	414,000円
		10人槽	548,000円
			H31年度までの補助額
			532,000円
			614,000円
			748,000円

● 浄化槽には維持管理が必要です【保守点検、清掃、法定検査】●

優れた汚水処理性能を持つ浄化槽ですが、適正な維持管理を行わなければ、本来の機能を十分に発揮することができません。維持管理を怠ると放流水の水質悪化や、悪臭が発生してしまうため、逆に生活環境を悪くする原因になってしまいます。法律で定められた3つの大切な義務である「保守点検」、「清掃」、「法定検査」を必ず実施してください。

- ◆ 保守点検…浄化槽の機能診断や消毒剤補充等の定期点検(1回以上/4か月)
- ◆ 清掃…槽内に溜まった汚泥の抜き取りや機器類の洗浄(1回以上/年)
- ◆ 法定検査…県知事指定検査機関「大分県環境管理協会」が行う水質に関する検査(1回/年)

【問合せ先】 (補助金について) 上下水道課 ☎0978-72-5197
 (維持管理について) 環境衛生課 ☎0978-72-9001
 (法定検査について) 大分県環境管理協会 ☎097-567-1855

平成29年度国東市ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)

全国11位

ふるさと納税は市の貴重な財源となります

寄附件数 14万2,974件 受入れ寄附額 32億3,919万3,796円

平成29年度の国東市のふるさと納税は、市内事業所や農林水産物の生産者の皆様のご協力のもと、返礼品の品数や種類を増やしたことや、積極的なPR活動を推進したことで、前年度実績と比較して約30%増の32億円を超える寄附金を全国の皆さんからいただきました。事業を管轄する総務省の調べでは、寄附額の多さは全国の市町村で11位の実績となります(平成28年度は、全国16位でした)。

また、その寄附金から、返礼品の購入や事務費など、この事業に掛かる経費を差し引いた額(残金)を基金として、13億7,873万1,077円積み立て、基金総額は25億8,497万3,466円となり、過疎少子高齢化で財源の確保が厳しい中、国東市の貴重な財源となります。

また、平成29年度は、これまで積み上げた基金のうち、4億5,000万円を使い、小・中学校の教育環境の充実化や農林漁業の助成事業など、国東市が実施する44種類の振興事業に活用しました。



市内小・中学校の教育用のパソコンは、ふるさと応援寄附金を活用し更新しています。

ふるさと納税については、返礼品のあり方などをめぐり、国と地方で様々な議論がありますが、寄附金は貴重な市の財源となり、返礼品(特産品)を全国にPRしながら、地域経済の活性化に寄与する、重要な取り組みです。今後も市内事業所や生産者の皆さんと連携し、積極的な取り組みを行います。

※寄附者の皆様については、市ホームページにて公開しています。(公開可の方のみ)

平成29年度企業版ふるさと納税(寄附金)

従来の個人から寄附を募るふるさと納税とは別に、市外の私企業から寄附を募る制度「企業版ふるさと納税」が平成28年の4月にスタートしました。国東市は、市内において新規創業を企画する起業家を支援する、「国東市創業・起業支援事業」をその対象事業に選定し、寄附を募ったところ、京都府京都市の(株)京都製作所様からふるさと納税をいただきました。



株式会社 京都製作所 様(京都府京都市)
寄附額 500万円

※株式会社京都製作所は、安岐町の株式会社京製メックの関連企業です。
<http://www.kyotoss.co.jp/>

包装機械の製造をはじめ、各メーカーのニーズに対応した生産機械の開発を行う京都製作所様から、安岐町に関連企業(株)京製メック)があることもご縁となり、企業版ふるさと納税の制度が始まって以来、2年連続でふるさと納税をいただきました。